

コロナ下「命の献血」



献血に参加する東濃信用金庫職員ら＝多治見市虎溪山町、
とうしん学びの丘エール

東濃信金職員ら協力

東濃信用金庫(多治見市本町)は「信用金庫の日」(6月15日)に合わせ、職員が献血に協力する奉仕活動に取り組んだ。

信用金庫では毎年全店で清掃奉仕活動が続けてきたが、今年はコロナ禍で輸血用血液が不足していることを知り、献血ボランティアに切り替えた。

同市虎溪山町のとうしん

学びの丘エールに献血会場を設定し、職員ら約40人が参加。献血車に乗り込んで多くが400ミリリットル献血に臨んだ。

22日までに可児市の下恵土支店、愛知県春日井市の八田支店でも会場を設け、職員計80人程度が協力する予定。
(箕浦由美子)